

## ◆男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 26 年度第 3 回)

## 議 事 録(案)

2014 年 12 月 19 日 (金) 開催

時 間	14:00～16:00		場 所	地盤工学会会議室	
工 藤 委 員 長	○	亀 村 オブザーバー	○	田 中 委 員 兼 幹 事	○
山 口 委 員	○	野 崎 委 員	○	西 岡 委 員	○
小 林 委 員	×	岩 崎 委 員	○	熊 野 委 員	○
渡 邊 委 員	○	清 木 委 員	○	隅 倉 委 員	○
大串氏(オブザーバー)	○				

○：出席 ×：欠席 △：未定

議事録担当者の選出

清木が議事録担当者となった。

前回議事録の確認(工藤委員長)

【別紙 - 1】 pp.1~2

- ✓ サロン・土・カフェや特別セッションなど課題があるので、次年度に向けて解決する。
- ✓ 各イベントの担当の確認を行う。

## 【議 題】

## 【報告事項】

1. 会員・支部部の動き(工藤委員長)

【別紙 - 2】 pp.3~8

- ✓ 支部におけるダイバーシティに関する活動も把握する必要がある。
- ✓ 本部・支部活動情報の収集配信 WG が過去に FB による情報共有の仕組みを検討したが技術的・運用的に課題があり実現していない。FB は過去の情報を参考にするには弱いので、ポータルサイトの作成を提案し、WG で検討することになった(9/18)。
- ✓ 12/11 の部会は主に予算について検討した。
- ✓ 「シニア会員による技術の伝承」は集客や講師募集が課題である。

2. 土木学会ダイバーシティ推進委員会動向(工藤委員長)

- ✓ 土木学会ダイバーシティ推進委員会は、小委員会から委員会に格上げとなった。
- ✓ 現在、提言検討小委員会として土木学会としてのダイバーシティ推進に関する提言を準備中である。
- ✓ 日建連の動きとして、「けんせつ小町」が提案されている。この「小町」に「美人」という意味があり、呼称に異論が出ている。

3. 男女共同参画学協会連絡会関連(野崎委員, 清木)

【当日配付資料】

- ✓ 10/4 連絡会シンポジウムの様子を資料に基づいて報告した。
- ✓ 運営が女性主体、研究者主体で運営されているので、改善が望まれる意見が出た。

4. 来年度予算

【別紙 - 3】 pp.9~11

- ✓ 学会の来年度予算は、スクラップ&ビルドがキーワードとなっているが、スクラップばかりがクローズアップされている感がある
- ✓ 委員会の第二次予算は 45 万円。昨年度予算 35 万から 10 万円アップである。増額分は支部委員の交通費(4 回の委員会のうち 1 回分)とダイバーシティ小特集の別刷代である。若手座談会費用は経費削減のため昨年度に比べ 1 万円減額。

5. 地盤女子(工藤委員長, オブザーバー大串氏)

【別紙 - 4】 pp.12~13

- ✓ 地盤女子として、工藤委員長、熊野委員が新建ハウジング掲載座談会に参加し、記事となった。
- ✓ この機関紙は工務店の関係者が読むものである。この業界では地盤の重要性や正しい知識を工務店関係者やエンドユーザ(特に家を購入する主導権を持つ奥様方)に持っていただくことが課題である。地盤女子の企画は、地盤に関する情報を発信し理解していただくにあたり、奥様方と同じ女性という立場で話をする事ができる女性技術者・研究者に活躍してもらいたいという意図がある。

#### 【審議事項】

##### 1. ダイバーシティ小特集

【別紙 - 5】 pp.14~16

- ✓ 紙面版の執筆者について、当初案の方々に執筆を承諾いただいた旨、説明があった。
- ✓ web 技術者紹介の執筆者案を話し合った。山口委員と隅倉委員も執筆者となり先行して原稿を執筆いただく。それをひな形に他の執筆者に依頼する。
- ✓ 候補者：保高様(若手：産総研), Angelica Naka 様(若手&女性&海外：研究者), 本橋様(女性：パシコン), 桑野先生(女性：東大), 柴田あずま様(シニア, コンサル, 海外在住), 基礎地盤の方・吉村様(?) (若手・コンサル), 京川様(若手, ゼネコン), 福田様(シニア), 田中洋介様(東亜建設・ゼネコン・海外在住), 隅倉委員(委員・ゼネコン), 山口委員(委員・研究者・女性)  
この他、委員からの執筆希望を受けつけるものとした。
- ✓ 執筆必須項目：項目 1, 2, 3 を必須。分量は、A4 用紙 1~2 ページ、写真を掲載。
- ✓ 委員の原稿を 1 月中旬まで。1 日の生活については、平日と休日の双方を書く。学会誌のひな形に従って執筆。

##### 2. サポートメール配信, 委員会 HP の更新

- ✓ 委員会 HP に、11・12 月号記事をリンクさせる(熊野委員)
- ✓ サポートメールを配信する。北九州大会の特別セッションとサロン・土・カフェ W 参加のお礼、札幌大会のセッションとサロン・土・カフェ W の予告、ダイバーシティ小特集の内容を配信する。文面案の作成を山口委員に依頼した。

##### 3. 札幌大会の特別セッション, サロン・土・カフェ W

【別紙 - 6】 pp.17~23

- ✓ 地盤工学研究発表会(於：北海道科学大学)の 1 日目午後 1・2 枠で特別セッションとサロン・土・カフェ W 開催の希望を出している。
- ✓ 特別セッション主担当：西岡委員+副担当：(次年度担当できる方を割り当てる)  
・地盤工学会員, 札幌周辺をキーワードに話題提供者を探す。
- ✓ 若手座談会：渡邊委員, 隅倉委員
- ✓ サロン・土・カフェ W：主担当：熊野先生+副担当(後日決定)  
・雪割草の会のように土木技術者女性の会の北海道支部と共催を検討する(田中幹事から感触を伺う)。  
・会場は北海道科学大学の川端先生が窓口となる。  
・共催団体との関わり方は、会場の場所など確認しつつ検討を進める。

##### 4. 委員増強, ダイバーシティ減免制度, その他

- ✓ 支部枠で委員を増強：北陸支部：雪割草の会との連携を念頭に、(1)金沢大学の高原先生, (2)関西支部：片岡先生, (3)九州支部(ダイバーシティ委員会に参加希望した委員) のうち 2 支部から推薦をお願いする。
- ✓ 委員の交代：委員任期は 3 年+1 年である。退任される方は、次年度の委員を探して欲しい。  
・建築に関連される方をお誘いするのも良い。地盤品質判定士を取得し新建ハウジングの座談会で一緒に活動された方などが候補として考えられる。
- ✓ 減免制度：この制度を知らない方が多い。該当する箇所の Web ページがあまり見られていない。学生にはアンケートで周知している。  
・一般会員への周知する方法の案：退会の HP に減免について、「減免制度があることをご存じですか？」などの記載など、目立つようにして頂く。職場班の担当者に減免制度適用を受ける

権利がある該当者を知らせる。会費の請求時に減免制度があることを知らせる。会費の払い込みが遅れている方に会費の再請求をする場合に案内を同封する。サポーターメールに減免制度を掲載する。

✓ その他

✓

鹿児島大学の酒匂先生に若手セミナーで若手を対象に1時間ほど若手参加者を対象に意見交換やアンケートを実施していただいた。

Q 地盤工学会に関する行事に対する意見。

- ・回答抜粋：技術者にフォーカスして欲しい。会員が減るのは仕方がない。という意見であった。
- ・技術者に対して学会活動は仕事になっていないので、若手を出しにくい。
- ・CPDのポイントが入札制度などへの重要性が高くなってきた。参加者にCPDを付与することを検討する。

5. 次回開催日の確認： 2015年3月19日(木) 15:00～

以上